

令和8年度 第5回 部長会議記録（要旨）

開催日時：令和8年7月1日（水）13時00分から15時30分まで

開催場所：A203・204会議室

出席者：佐藤市長、高田副市長、熊谷教育長、岡本総務部長、佐々木企画部長、下平リニア推進部長、牧内リニア駅周辺整備担当参事、林市民協働環境部長、下井ゼロカーボンシティ担当参事、藤本福祉部長、山崎こども未来健康部長、市瀬産業経済部長、浅野産業経済部参事、小倉建設部長、馬場建設部参事、後藤危機管理部長、井田上下水道局長、福岡市立病院事務局長、佐々木会計管理者、筒井議会事務局長、秦野教育次長、堤社会教育担当参事、小澤財政課長、松井秘書課長、滝沢南信州広域連合事務局次長、櫻井企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

- ・龍江地区のまちづくり懇談会では倒木、倒れそうな木の話があった。飯田市では林務課が所管する長野県森林づくり県民税活用事業により、ライフライン沿線の支障木として対応することが最適ではないか、ということになった。倒木対応の一義的な担当部署だと建設部、となるが、今回のケースのように皆で集まって知恵を出すことが重要。時の担当者が知っている・知らない、で対応できることが変わるの組織として望ましくない。今後、新たな総合計画策定も視野に入ってくるが、企画課だけ、部長会議だけ、ではない。皆でやることが重要になる。
- ・市役所全体として、何か相談したいときの情報共有、皆で知恵を出し合えるような仕組みができるとよい。

<副市長>

- ・議会では国民健康保険税条例の一部を改正する条例の議決を頂いた。水道料金の改定についても飯田市上下水道事業運営審議会で答申を頂いた。市民に負担を求めることが複数あるのは心苦しいことではあるが、将来を見据えたときに、きちんと説明して理解を頂くことが重要である。各部局においても課題があると思うが、長いスパンで考えていく、早めに相談をするということが大事である。

<教育長>

- ・第72回風越山トレイルマラソン大会の実行委員会において、クマ対策とスタッフ確保が困難な状況であるため、中止を決定した。来年の開催については今後検討する。
- ・今年度整備予定の小中学校の空調機器については、その多くが使用できる状況になった。

2 協議事項

(1) 令和9年度戦略計画策定に向けた事業重点化の基本方針及び事業構築の視点について

◇趣旨

- ・事業重点化の基本方針等について協議する。
- ・提案のとおり、基本方針とする。

◇意見

(市長)

- ・人口減少への適応が緩和にもつながる、という視点の再確認を。
- ・あえて注意するならば、無理に「若者のために」「女性のために」を企画すると恐らく上手くいかない。若者におもねる、女性ならこうだろうと思うことは避けること。それぞれの施策において「市民のために」を突き詰め、どのような未来を描くかが大事。その結果、若者にとっても、女性にとっても住みよいまちになるということ。改めて、皆で知恵を出すこと。

3 報告事項

(1) 飯田市生成A I システム利用ガイドラインについて

◇趣旨

- ・生成A I システム利用ガイドラインの策定について報告する。

◇意見

(市立病院事務局長)

- ・市立病院では独自のA I を使っているが、このガイドラインの対象外となるのか。

(デジタル推進課長)

- ・対象外となる。市立病院、教育委員会はそれぞれセキュリティポリシーを設けているため、そのもとで運用することとなる。

(上下水道局長)

- ・水道管の劣化度等を調べるためにA I 活用を検討している。また契約時に相談する。

(デジタル推進課長)

- ・生成A I による学習が無い、閉じられた環境の中での運用は問題無い。

(教育次長)

- ・新聞記事については事業者と教育委員会とで協定締結しており、授業で使えることとしている。
- ・著作権の取扱は難しく、著作権侵害による請求もあり得る。職員向けに研修をしていってはどうか。

(企画部長)

- ・総務部と検討する。

(2) フロントヤード改革の取組と窓口利用体験調査の実施について

◇趣旨

- ・フロントヤード改革の取組状況と今後の進め方について報告する。

(3) 議会による行政評価について

◇趣旨

- ・行政評価の進め方について報告する。

4 令和8年飯田市議会第2回定例会の反省について

(1) 本会議・一般質問について

◇意見

(議会議務局長)

- ・一般質問聞き取りにあたっては、最上段の質問事項について質問するかどうかの確認をお願いしたい。
- ・聞き取りの際は、議員の意図や思いを聞いていただきたい。議員からの質問「課題を把握していますか」に対して「把握しています」の回答では不十分であり、課題の中身について内容を聞いたかったはず。

(市長)

- ・議員には聞き直しをしてもらうなど、お互いの努力が必要である。
- ・関係団体の説明・報告があったが、項目だけ説明したような印象を抱くものもあった。「〇ページには何が書いてあります」ばかりでは何を説明したのか、ということになる。もちろん端的に説明しないといけないのは前提である。
- ・基本的な法制執務の話として、議案説明の際、議案が2つであれば「〇から〇まで」とは言わない。「及び」になる。議案が3つ以上あれば「第〇号から〇号まで」と表現するのが適切。

(2) 常任委員会、分科会について

◇意見

(議会事務局長)

- ・議会としては一定の成果があった。反対討論、賛成討論があり、委員会でしっかり議論できた。
- ・質疑と答弁がかみ合わないことについては、議員による聞き直し、適宜議事整理なども必要。部長も介入をお願いする。明らかに答弁がかみ合わないときに部長が無反応だと、適切な答弁が為されていると議員も誤認する可能性がある。
- ・質問も答弁も、簡潔明瞭であることを求めているが、議員からはそうであったかどうか疑問の声もあった。例えば、道路の瑕疵については、なぜ市が責任を負うべきなのかという前提がそろわないと、議論できない。直接聞かれることのみに答えるだけでなく、その前提となる内容についても説明が必要である。
- ・補足説明資料が分かりにくいという声もあった。市民目線で分かりやすくするよう努めてほしい。

(副市長)

- ・産業建設委員会協議会には天龍峡温泉交流館の事業報告をしている。かつて改築予算を議決していただいた際の附帯意見で報告を求められたものであるが、既に10年経過し、指定管理者も状況も変わっている。チェックする機会は他にもあるため、議会としていつまで報告を求めるか検討してほしい。

(議会事務局長)

- ・検討する。
- ・産業建設委員会では指定管理者制度に関する質疑が多い。答弁にあたっては財政課と確認しながら適切な説明をしてもらうようお願いする。

5 連絡事項

(1) 市議会への資料提出、庁議等に係る事務の変更について（企画部）

(2) ごみ袋の供給状況について

(市民協働環境部長)

- ・前年実績により確保しているが、6月上旬から全国的品薄により当地域で買いためた人がいる。在庫はあるが、店頭供給のタイミングと合っていなかったため、現在前倒しで出荷し、店頭に並べている。7月中旬にまた入荷するため、袋が無くなるということはない。これまでどおり、必要な時に必要な枚数を買ってほしい。店頭でポップにより周知している。

(市長)

- ・市の公式LINEなどプッシュ型で広報してはどうか。店頭で再び切らさない状況を作ることも重要。

(市民協働環境部長)

- ・LINE活用を検討する。

6 人口減少の市民生活への影響に関する意見交換

7 閉会